

第5学年国語科学習指導案

日時 平成28年9月28日(水)

児童 5年 男子8名 女子7名 計15名

- 1 単元名 和の文化を目的に応じて調べ、資料を活用して説明会を開こう
中心学習材 和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる(東京書籍 5年)
補助学習材 和の文化について書かれた図書、新聞記事、給食だより
- 2 付けたい力と言語活動

《主となる指導事項》

- ◎目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。(読ウ)
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。(読カ)
- ◎目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。(話・聞イ)

《付けたい力》

- ◎目的に応じて、資料から内容や様々な情報を読み取る力。
- ◎伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明する力。

《言語活動とその特徴》

- ◇和の文化について目的に応じて本や資料を読んで調べ、資料を活用した「和の文化説明会」で説明する。
- ◆説明会を行うためには、調べて集めた情報をまとめたり、目的に応じて資料を活用して説明したりする必要がある。従って、資料から目的に応じた情報を読み取り、資料を活用して説明する力を付けることができる。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、「読むこと」のウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること」に関して、第5学年5月学習材「動物の体と気候」において、文章構成図を活用しながら、書かれている内容を読み取り、その要旨を的確にとらえることを学習してきた

また、「話すこと・聞くこと」のイ「目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと」に関して、第4学年のときに「だれもがかかわり合えるように」において、自分の決めたテーマに沿って集めた資料をまとめたり、事例を挙げながら筋道を立てて報告する発表の型を身に付けたりすることを学習してきた。

しかし、文章構成をとらえて内容を正確に読み取り、要旨を自分の力でまとめたり、目的を意識して情報を集め、説明や資料の形式を工夫して発表したりすることは十分ではない。

そこで本単元では、複数の資料から自分の説明に必要な情報を選んだり、資料を活用して説明したりする力を付けることをねらいとした。

(2) 学習材について

第5学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」であり、「話すこと・聞くこと」の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話す能力、相手の意図をつかみながら聞く能力、計画的に話し合う能力を身に付けさせるとともに、適切に話したり聞いたりしようとする態度を育てる。」である。これを受けて本単元では、「複数の本や資料を、目的を意識して読むことができる。」「伝えたい内容や目的に合わせて、資料を活用して説明することができる。」を主目標とする。

この主目標を受け、本単元は「読むこと」「話すこと・聞くこと」の複合単元とした。「読むこと」で学習する中心学習材「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる」は、伝統的な文化に関するものの中でも想起しやすい和菓子を題材とし、序論・本論・結論の構成が明確な文章である。さらに、和菓子を「和菓子

の歴史」・「ほかの文化との関わり」・「支える人々」の三つの観点から説明するという構成、写真や図表などの資料が説明に用いられていることは、その後の調べ学習や発表へとつなげやすく、意識して読み進められる学習材である。また、「話すこと・聞くこと」では、本文で読み取ったことを生かしながら、自分が伝えたい「和の文化」について説明をする。児童がいろいろな本や資料を使って調べたり考えたりした「和の文化」について、説明の構成に合わせて資料等を提示したり、目的に合わせて分かりやすく効果的に伝えたりすることからも適した学習材といえる。

(3) 指導について

第一次では、扉の写真や題名、「和」という言葉からの連想、山下さんのグループの発表原稿をもとに、本文への関心を高め、学習への見通しをもたせる。その後、「和の文化」について調べたことを授業参観で保護者や地域の方に説明することを確認し、説明会に向けて学習計画を立てる。

第二次では、説明会で説明するという目的のために本文を読むことになる。まず、文章の構成（序論・本論・結論）を捉え、序論と結論から、筆者の伝えたいこと（要旨）を読み取る。次に、筆者はこの伝えたいことを伝えるために、本論でどのような説明をしているのか、観点やそれぞれの説明の仕方の工夫について読み取る。また、本文と図や写真を関係付け、その効果を読み取る。

第三次では、第二次までに積み重ねてきた学習をもとに、並行読書によって読んできた複数の補助学習材の中から、グループで説明する「和の文化」について、必要な情報を集める。その際、文章だけではなく、図表や写真等の情報を利用するなど、効果的な読み方ができるように意識させる。

第四次では、グループで調べた「和の文化」を明確に伝えられるように、説明の構成を工夫させる。説明の構成を工夫させるにあたり、自分が集めた情報を観点ごとに整理させ、必要な情報を選んだり組み合わせたりして、説明の順序を考えて構成させる。説明会においては、自分たちが調べた「和の文化」との比較で気付いたことや資料を活用しての説明の仕方についてよかったことなどを交流できるようにする。

<中心学習材と言語活動>

<p>5月 「動物の体と気候」</p> <p>文章の構成と要旨をとらえて紹介するため、文章の構成を考えながら読む。(パンフレット)</p>	<p>6月 「新聞記事を 読み比べよう」</p> <p>新聞記事の見出しを考えるため、書き手の意図をとらえながら読み比べる。 (新聞記事の編集)</p>	<p>9月(本単元) 「和の文化を受けつぐ 一和菓子をさぐる」</p> <p>「和の文化」について説明するため、集めた情報をまとめたり目的に応じて資料を活用して説明したりする。(説明会)</p>	<p>2月 「テレビとの付き合い方」 メディアとの付き合い方に関する自分の考えを書いて交流するため、例と意見との関係に注意して筆者の考えを読み取り、文章に対して多面的に考える。(討論会)</p>
---	--	---	---

4 単元の指導目標と評価規準、指導計画

(1) 単元指導目標

- 和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりすることができる。 【関心・意欲・態度】
- ◎事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫することができる。 【話すこと・聞くことイ】
- ◎説明会という目的を意識して、観点や構成に着目して内容を的確に理解して要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 【読むことウ】
- 自分の課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選ぶことができる。 【読むことカ】
- 発表原稿の構成について理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(キ)】

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○和の文化について調べて説明するという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題を探したり、資料の提示の仕方を工夫して話したりしようとしている。	◎事柄が明確に伝わるように、情報を観点ごとに整理し、説明の構成を工夫している。(Aイ)	◎説明会という目的を意識し、調べる観点や説明の仕方に着目して読み、自分の考えや意見をまとめている。(Cウ)	○発表原稿のいろいろな構成について理解している。 (伝国(1)イ(キ))

(3) 単元指導計画 (読むこと8時間+話すこと・聞くこと5時間 全13時間)

	【主な学習活動】	【評価】
<p>第一次 単元のねらいを知り、学習の見通しをも</p>	<p>①学習の見通しをもって、学習計画を立てる。</p>	<p>①「和の文化」に関心を持ち、「和の文化説明会」に向けて学習の見通しをもとうとしている。(発言・ワークシート)</p>
<p>第二次 本文について、文章構成や要旨、説明の仕方などをとらえながら読む。</p>	<p>②文章構成(序論・本論・結論)をとらえる。</p> <p>③序論と結論から筆者の伝えたいこと(要旨)を読み取る。</p> <p>④本論を3つの観点で分けて、本論1の説明の仕方の工夫を読み取る。</p> <p>⑤本論2、本論3の説明の仕方の工夫を読み取る。(本時)</p> <p>⑥図表や写真等の効果をとらえ、文章表現等を含めた効果的な表現をまとめる。</p>	<p>②段落相互のつながりと文章構成をとらえている。(Cウ)(ワークシート)</p> <p>③要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらか読んでいる。(Cウ)(ワークシート)</p> <p>④本論1の筆者の説明の仕方の工夫を書いている。(Cウ)(ワークシート)</p> <p>⑤本論2と本論3の筆者の説明の仕方の工夫を書いている。(Cウ)(ワークシート)</p> <p>⑥文章表現等の効果と図表や写真等の情報の効果をとらえている。(Cイ)(ワークシート)</p>
<p>第三次 自分達が発表する「和の文化」について、複数の本や文章の中から、必要な情報を集める。</p>	<p>⑦⑧ 自分たちが説明する「和の文化」について、必要な情報を集める。</p>	<p>⑦⑧ 自分たちの課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選んでいる。(Cカ)(ワークシート)</p>
<p>第四次 自分達が調べた「和の文化」を明確に伝えられるように、説明の構成を工夫し、説明する。</p>	<p>⑨集めた情報を観点別に整理する。</p> <p>⑩情報を選び、説明の順序を考えて構成する。(担当者を構成表に記入)</p> <p>⑪発表原稿と発表に使う資料を作成する。</p> <p>⑫説明会に向けて、分かりやすく説明するためのポイントを確認しながら練習をする。</p> <p>⑬「和の文化説明会」を開き、友達と交流する。</p>	<p>⑨集めた情報をどのような観点で整理して、説明するのか内容を考えている。(Aイ)(ワークシート)</p> <p>⑩伝えたいことを意識して、発表の構成を考えている。(Aイ)(ワークシート)</p> <p>⑪発表の構成や資料の使い方を意識して、内容を考えながら資料を作成している。(Aイ)(ワークシート)</p> <p>⑫発表原稿と用意した資料を用いながら説明を聞き合い、よりよい発表の仕方を考えている。(Aイ)(発言・ワークシート)</p> <p>⑬伝えたいことを意識して、「和の文化」について明確に伝わるように資料を活用して説明したり、自分の意見や知識と比べながら発表を聞いて感想を述べたりしている。(Aイ)(発言・感想・ワークシート)</p>

並
行
読
書

5 本時の指導

(1) 目標

「和の文化説明会」の分かりやすい発表原稿を作るために、本論2、本論3の観点について、筆者の説明の仕方の工夫が分かる。

(2) 展開

段階	学習内容	指導の要点・留意点・評価
		○指導の要点 ・指導の留意点 ※評価箇所
導入	1 前時の学習内容を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 ・課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 学習掲示で確認させる。 単元のゴールを確認させる。
3分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「和の文化」説明会の分かりやすい発表原稿を作るために、本論2と本論3の筆者の説明の仕方の工夫を見つけよう。 </div>	
展開	3 学習課題を解決する。 (1) 学習の進め方を確認する。 (2) 筆者の説明の仕方の工夫について考える。 【本論2】 <ul style="list-style-type: none"> 「ほかの文化」を2つ取り上げて説明している。 年中行事との結び付きと茶道との深い関わりについて、具体例を示して説明している。 「例えば」という書き出しで書かれている。 よびかけの文末表現をしている。 写真が使われている。 【本論3】 <ul style="list-style-type: none"> 「和菓子を作る職人」「道具や材料を作る人」「食べる人」の3つの視点から説明している。 「まず」「また」「一方」という書き出しで書かれている。 問いかけの文末表現をしている。 写真が使われている。 (3) 読み取った内容を全体で交流する。 <ul style="list-style-type: none"> この説明の仕方が、なぜ分かりやすさにつながっているのかを、本論2と本論3の説明の仕方の共通点などから、全体で考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習を生かし、筆者の説明の仕方の工夫を見つけていくことを確認させる。 本論2を考えるグループと本論3を考えるグループに分けて考えさせる。 ○自分の考えを確立させていくために、筆者の説明の仕方の工夫について、グループで交流しながらまとめさせる。 ※評価規準 B 自分たちの発表原稿に生かすために、本論2や3の観点について、筆者の説明の仕方の工夫を書いている。 (Cウ)(ワークシート)
37分		○板書に整理し、筆者の説明の仕方の工夫について全体で深めさせる。
終末	4 本時の学習を振り返る。 ・学習感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を通して分かったことや自分たちの説明に生かしたいことなどを書かせる。
5分	5 次時の学習内容を確認する。	

(3) 板書計画

